

令和7年度 保健医療局運営方針

～誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる
「健康福祉のまちづくり」の実現 をめざして～

福岡市健康づくり
イメージキャラクター
よかろーもん





▶▶▶ 今年度の重点取組み

1 予防・健康づくり、福岡100の推進

(主な施策)

- 噛む活、オーラルケア28（にいはち）プロジェクト
- 二次性骨折予防
- 女性の健康づくり推進
- 依存症対策の推進 等

2 健康危機管理体制の強化

(主な施策)

- 健康危機管理体制の強化
- 結核対策
- 食品衛生の推進

3 生活衛生の確保

(主な施策)

- 飼い主のいない猫等の不妊去勢手術の推進
- 犬猫の譲渡推進
- 動物愛護管理センター老朽化対応の検討
- 葬祭場の火葬炉設備等更新



噛む活

「福岡市民が将来の要介護状態の発症を予防するには咀嚼機能そしゃくの向上が重要」というエビデンスに基づき、市民の咀嚼機能の向上を図る取組みを実施

よく噛む習慣づくりの推進

新規「噛む活」(ガムを活用した啓発と咀嚼機能チェック)の実施

ガムを毎日複数回、継続して噛むと咀嚼機能が向上

ガムを活用し、「よく噛むことの習慣化」を図る

<市民の咀嚼に関するエビデンス>

咀嚼機能が「良好」の者に比べ、「難あり」の者は**1.2倍**、「不良」の者は**1.6倍**、**要介護発生リスクが高い**

ガムを活用した啓発

脳の活性化や肥満予防、オーラルフレイル予防など噛むことの効果を伝える啓発媒体と一緒にガムを配布



咀嚼を意識

歯科医院での咀嚼機能チェック

噛むと色が変わるガムを活用した咀嚼機能チェックと、結果に基づいて食べ方などのアドバイスを提供



オーラルケア28 (にいはいち) プロジェクト

治療よりも予防に重点をおいた、エビデンスに基づく全世代の歯と口腔の健康を守るプロジェクト

産学官の資源を活かし、オール福岡で歯科口腔保健を推進

福岡市歯科医師会、福岡県歯科衛生士会、九州大学、福岡歯科大学などの関係機関と協力し、乳幼児・学齢期、成人期、高齢期など各ライフステージの特性に応じた効果的な歯科口腔保健推進プロジェクトを実施

〔乳幼児・学齢期〕

ポケモンスマイルではみがき大作戦



小学1年生向けの啓発

放課後児童クラブ等への歯科衛生士派遣

放課後児童クラブ等での啓発

〔成人期〕

産婦歯科健診



産婦向けの無料歯科健診

デンタルチェック18~20

18歳から20歳向けの無料歯科健診

〔高齢期〕

高齢者施設職員向けの動画配信等による口腔ケアの実践拡大



<口腔と全身の健康との関連>

口腔機能の低下により、フレイルや総死亡のリスクがそれぞれ**2.4倍**、**2.1倍**に上昇

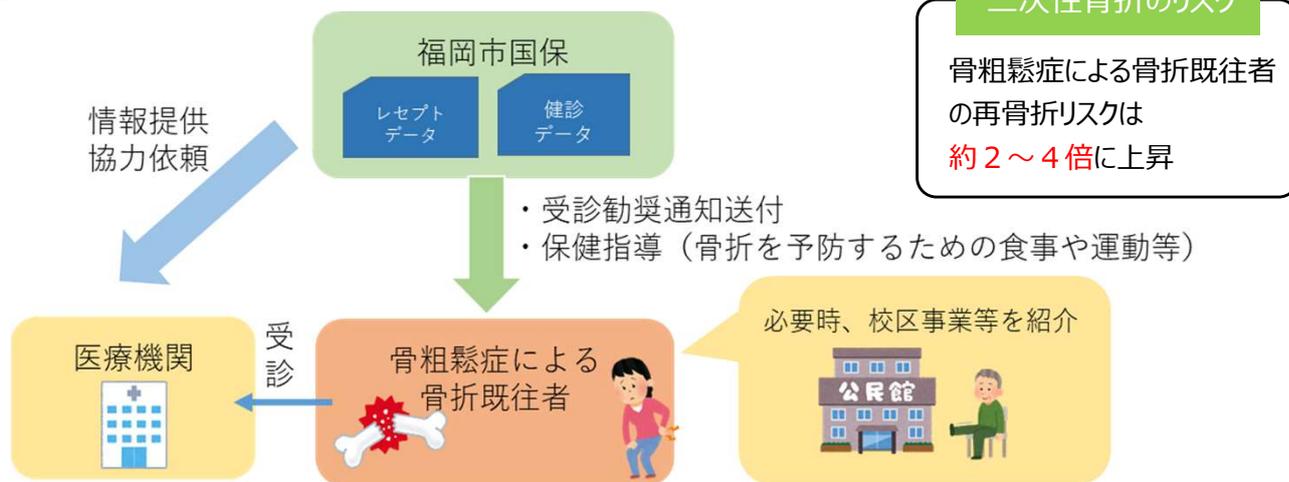


二次性骨折予防事業

国民健康保険被保険者のうち、骨粗鬆症^{しょう}による骨折既往者を対象に、骨粗鬆症治療を促す受診勧奨や骨折予防のための保健指導を実施

防ごう！骨折ドミノ（骨粗鬆症による再骨折を予防）

新規 受診勧奨通知送付と保健指導を実施



高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

医療・健診・介護データを活用し、後期高齢者の保健事業と介護予防事業（福祉局）を一体的に実施し、効果的かつ効率的に支援

健康課題のある高齢者をきめ細かに支援

医療・健診・介護データをもとに健康課題を分析し、事業を企画・調整

- 国保データベースシステム等を活用し、医療・健診・介護データを分析
- 庁内関係部署や医療関係団体等と連携し、一体的実施事業を推進



保健事業

疾病予防・重症化予防

健康課題がある後期高齢者に、専門職が家庭訪問による保健指導を行い、必要なサービスへつなげる
○高齢者に対する個別的支援（健康診査フォローアップ事業）



介護予防事業

生活機能の改善

フレイル予防の健康教育・健康相談

連携



女性の健康づくり推進事業

ロコモティブシンドロームなど、女性特有の健康問題に着目した運動習慣定着に向けた取組みを実施

女性の健康的なカラダづくりを推進

ロコモ予防の啓発と運動の促進

○エクササイズ体験教室

ロコモ予防のきっかけづくりとして、主に30代～50代の子育て中や働く世代の女性に向けて実施



○ながらエクササイズ動画広報

日常生活の中で気軽に取り組める運動動画の広報周知



○アラカンフェスタにて ロコモ予防ブース出展

立ち上がりテスト等を実施し、ロコモ啓発を行う



新規 若年層のやせ課題

○ワークショップ開催

若年女性のやせがもたらす健康課題について、当事者である若い女性と課題を共有し、効果的な情報発信の方法等について協議



健康づくりチャレンジ事業

市民が健康づくりに関心を持ち、気軽に取り組むことができる仕組みづくりを推進

Fitness Cityプロジェクト

アプリ等を活用した、まち歩きを後押しする仕掛けづくりやイベントを実施

保険者・医療関係者連携による生活習慣病重症化予防事業

医療保険者や医療関係者と連携して、全ての市民を対象にCKD（慢性腎臓病）重症化予防の仕組みを構築

特定保健指導の遠隔実施事業

ICTを用いた遠隔による特定保健指導を実施（定員：200名）



依存症対策の推進

依存症問題に取り組む民間団体の活動を支援し、アルコール、薬物、ギャンブル、ゲーム・ネットの依存症の方とその家族に関わる機会を増やすことで早期の相談支援を促進

依存症問題を抱える方の早期の相談支援を促進

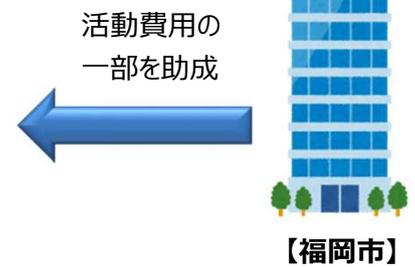
新規 依存症問題に取り組む民間団体活動支援事業

アルコール、薬物、ギャンブル、ゲーム・ネットの依存症問題に取り組む民間団体の活動にかかる費用を一部助成

補助内容	補助率	上限額
相談活動	補助対象 経費の1/2	50万円
ミーティング活動		10万円
普及啓発活動		10万円
情報提供活動		5万円



【依存症問題に取り組む民間団体】



【福岡市】

ひきこもり支援推進事業

ひきこもり成年地域支援センターにおいて、成人期のひきこもり者やその家族の相談・居場所支援等を実施

自殺対策

各関係機関・団体が緊密な連携を図りながら、自殺対策を総合的かつ効果的に推進



健康危機管理対策

「福岡市感染症予防計画」等に基づき、健康危機管理体制を強化

健康危機の発生に備えた平時からの取組み

新型インフルエンザ等対策行動計画の改定

令和6年12月に国が示した「市町村新型インフルエンザ等対策行動計画改定ガイドライン」等を踏まえ、市計画を改定し、感染症発生時に備えた平時の準備や対策の強化を図る。



職員等に向けた研修・訓練の実施

保健所職員や応援職員、IHEAT要員（※）に向けた研修・訓練の実施、国の研修会への職員派遣により、人材養成と資質の向上を図る。
（※ 健康危機発生時に保健所等の業務を支援する外部の専門職）



防疫用備品の整備や物資等の備蓄

感染症発生に備え、アイソレーター等の防疫用備品の整備や、防護服等の物資の備蓄を行う。

保健衛生・環境分野に関する試験・研究

感染症、食品、水質・大気等に関する試験検査及び調査研究を実施

食品衛生の推進

飲食店等への監視指導

食品の安全性確保のため、飲食店等への監視指導、食中毒対策及び事業者の自主的衛生管理の促進に関する取組みを実施

市民への情報提供

市民に対する食品の安全性に関する正しい知識の普及、理解の向上を図る取組みを実施



結核対策

結核の発生予防、早期発見・早期治療及びそのまん延の防止を目的として、健康診断を実施

結核健康診断における検査画像データ管理の効率化

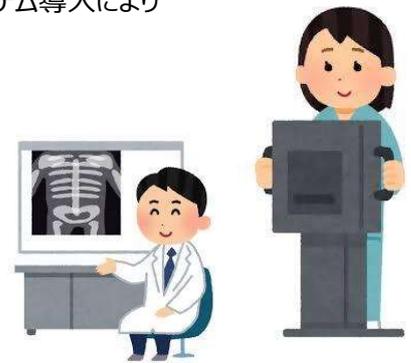
新規 結核健康診断における画像データの全市一括管理システムの導入

国内における結核罹患率（人口10万人対結核患者数）は年々低下しているものの、本市においては、集団感染事例も報告されていることから、まん延防止のためには適切な対策を講じる必要がある。

区ごとに実施している結核健康診断のデータ管理について、全市一括管理システム導入により一元管理を行い、業務の効率化を図る。

結核健康診断とは…

- ・胸部X線検査により肺や気管支などの異常を調べる
- ・65歳以上の方等を対象に各区保健福祉センターにて無料で実施





飼い主のいない猫等の不妊去勢手術推進事業

野良猫及び多頭飼育の猫の不妊去勢手術の支援を本格実施

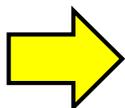
飼い主のいない猫等の不妊去勢手術の推進

野良猫の繁殖や多頭飼育崩壊を抑制し、猫の収容及び殺処分の削減を図るため、令和5年度より開始した「飼い主のいない猫等の不妊去勢手術推進モデル事業」について、支援頭数を拡充し本格実施

拡充 令和7年度の拡充ポイント

- ・手術支援頭数を1,600頭に拡大

R6 (800頭)	
○野良猫 (選定枠)	500頭
☆野良猫 (公募枠)	200頭
●多頭飼育	100頭



R7 (1,600頭)	
○野良猫 (選定枠)	500頭
☆野良猫 (公募枠)	1,000頭
●多頭飼育	100頭



犬猫譲渡推進事業

収容犬猫の殺処分を削減するため、市民ボランティアとの共働による犬猫の譲渡を推進

収容動物の精密検査・診断及び治療

新規 収容動物の精密検査・診断

体調不良の犬猫について、精密検査・診断を獣医師会に委託

新規 収容動物の治療

高度な技術や生命に関わる緊急的治療を動物病院で実施



動物愛護管理センター老朽化対応の検討

老朽化している動物愛護管理センターについて、市民が訪れやすく、動物福祉に配慮した施設とするために、役割や機能など、センターの方向性について検討を行う

動物愛護管理センターの方向性を検討

新規 求められる役割・必要な機能などの検討

- ・現状、課題の分析
- ・求められる「役割」と必要な「機能」などセンターの方向性を検討





葬祭場の火葬炉設備等更新

将来的な火葬件数の増加に対応するため、葬祭場の老朽化した火葬炉設備等の更新(令和8年度～)に向けた事業者の決定

福岡市葬祭場「刻の森」の整備

新規 火葬炉設備等の更新に向けた事業者の選定・契約

火葬炉の設計・製作に係る発注支援業務委託を発注し、事業者を選定のうえ契約を締結

福岡市葬祭場「刻の森」(南区松原6丁目1-1)

- 供用開始 平成17年10月1日
- 火葬炉 26炉(うち胞衣炉1炉)
- 告別室、収骨室 各6室



整備内容

- 火葬炉設備等の更新
 - ・事業者選定 令和7年度
 - ・更新期間(予定) 令和8～12年度(5年間)
 - ・更新の内容
 - 火葬炉(26炉)、排ガス処理設備、
 - 告別室・収骨室改修、受変電設備、空調設備等
- 事業者選定スケジュール(予定)
 - ・入札公告 令和7年4月
 - ・入札書類(提案書)の受付 令和7年9月
 - ・落札者の決定及び公表 令和7年12月
 - ・事業契約の締結 令和8年2月